

市営住宅跡地を活用し事務所・作業場を再開 ～『林地区復興事務所』～

【 宮城県岩沼市押分地区 】

名 称 : 林地区復興事務所
所 在 地 : 宮城県岩沼市押分字奥山187番2
種 別 : 仮設事務所及び作業場
延床面積 : 313㎡
入 居 者 : 造園業、建設関連業
区 画 数 : 5区画
建物構造 : 軽量鉄骨造 1階建て3棟
事業開始 : 平成25年1月21日
完 成 : 平成25年4月17日
供用開始 : 平成25年4月17日

仙台市の南方に位置する岩沼市は、名取市とともに仙台のベッドタウンとして発展してきた地域である。本仮設施設が所在する林地区は津波被災地域から少し内陸側に位置し、従前は岩沼市営住宅（林住宅）が所在していた。この地域は被災地域からの集団移転先となる復興住宅事業も近隣（玉浦地区）で計画されており、復興事業の先進エリアとなっている。

入居企業者は、津波被災地域のうち、貞山運河よりも海側の市街化調整区域に立地していた地元の造園業や建設関連の事業を営む企業である。岩沼市は復興事業に欠かせない建設関連等企業の再生を図るべく、市営住宅跡地を利用して仮設事務所・作業場の整備を中小機構に要望した。

これらの施設は平成25年4月17日に完成した。

